

軽くて扱いやすいポリエチレンを使用し、お湯を注ぐ時中身の量が見えやすいよう、無着色で仕上げました。

ポリエチレン

湯たんぽ・小

HOT WATER BOTTLE・S

630mL

MUJI 無印良品

材質
本体:ポリエチレン
キャップ:ポリプロピレン
BODY:POLYETHYLENE
CAP:POLYPROPYLENE (UK)/OLEFIN(US)

容量:630mL
耐熱温度:本体 110℃
キャップ 120℃

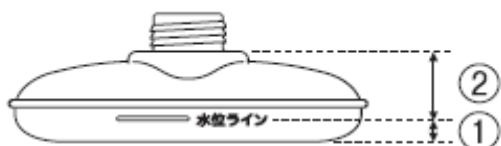
日本製
MADE IN JAPAN
株式会社良品計画 www.muji.com
お客様室電話0120-14-6404



ご使用方法

1. キャップを外す。
2. 適温なお湯を作る。
＜お湯の作り方の目安＞
①湯たんぽのそそぎ口の下にある「水位ライン」まで水を入れる。
②沸騰したお湯を口元まで一杯に入れる。

湯たんぽを横から見た図



- △注意:絶対に沸騰したお湯のみを入れないでください。
△注意:お湯が冷めたときに起きる変形を防ぐため、お湯はネジの口元一杯まで入れてください。
3. キャップをしっかり締める。
△注意:ゴムパッキンは必ず装着してください。
 4. 必ず専用カバー・毛布・タオル・布で全体を包む。
 5. キャップを上にして、布団に入れる。
 6. 就寝前に、湯たんぽを必ず布団から出す。
 7. 使用後はお湯を捨て、内部を乾燥させて保管する。

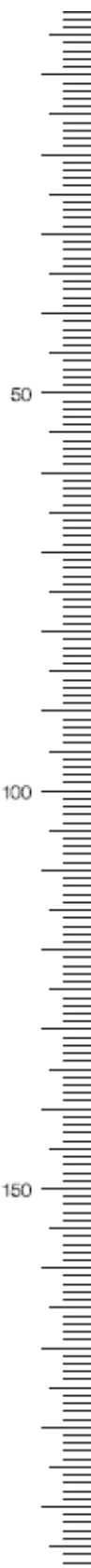
＜低温やけどを防ぐために＞

- 湯たんぽは、絶対に身体へ接触しないようにしてください。就寝中に誤って接触しないよう、就寝前に必ず布団から出してください。
- 一定時間ごとに湯たんぽの位置を変える介護が必要な方や病人など、身体や湯たんぽ自体を動かすことができない場合、ご使用はなるべくお避けください。保護者や介護者など周囲の方がいる場合は、身体の同じ部位に触れ続けないよう、時々、湯たんぽの位置を変えてあげてください。
- 厚手のタオルや布で全体を包む別売りのカバーを使用し、その上から厚手のバスタオルや布でくるむと、表面温度が下がるため、低温やけどを生じるまでの時間は長くなりますが、必ずしも低温やけどの防止には効果がありませんので、ご注意ください。

*熱すぎると感じるときは、中のお湯を低温にして調節をしてください。

- 湯たんぽにカバーをした状態でも直接身体をあてたり、足を乗せたり抱きかかえたりすると低温やけどの原因となりますので絶対にお避けください。

このSGマーク商品は製品安全協会の安全基準合格品です。SGマーク制度は、湯たんぽの欠陥によって発生した人身事故に対する補償制度です。



＜低温やけどについて＞

低温やけどは、心地よく感じる程度(体温より少し暖かい温度)のものでも、皮膚の同じ部分が長い時間接触していると発生するやけどです。熱いものに接触している皮膚の温度とやけどになるまでの時間はおよそ次のとおりです。

44℃では3時間から4時間 46℃では30分から1時間 50℃では2分から3分
(出典:山田幸生、「製品と安全第72号」低温やけどについて、製品安全協会)
低温やけどは皮膚の深いところまで達することがあります。万が一、低温やけど(皮膚の変色や痛み)が起きたときには、すぐに専門医の診断を受けてください。

⚠「取り扱いを誤った場合、使用者がケガ、やけど等で重傷を負う可能性が想定されること」
⚠「取り扱いを誤った場合、使用者がケガ、やけど等で軽傷を負うか、または家屋・家財などに関わる損害の発生が想定されること」を示します。

湯たんぽを安全にご使用いただくために、以下項目を遵守してご使用ください。誤った使用により、やけどやケガを引き起こす原因となりますので、使用開始後も必ず保管してください。

湯たんぽの使用上のご注意(この用紙は使用開始後も必ず保管してください)	
ご使用前に ⚠危険	<ul style="list-style-type: none"> ●キャップは内側についているリング状のゴムパッキンを必ず装着したままご使用ください。 ●パッキンは時々点検し、亀裂などがある場合は交換してください。(パッキンはパーツとして別売り販売しております。大・中・小共通です。) ●漏れがない事をご確認の上ご使用ください。漏れが生じた場合は使用しないでください。
ご使用時に ⚠危険	<ul style="list-style-type: none"> ●必ず専用カバー・毛布・タオルなど厚手の布で包んでご使用ください。 ●注湯時はやけどに十分注意し、湯があふれても安全な場所(キッチン・洗面台のシンクなど)で行ってください。 ●湯は必ず口元まで入れてご使用ください。湯の量が少ないと、本体内の気圧の変化により、開栓が困難になったり、本体に変形・亀裂などが生じ、やけどやケガを負う危険があります。 ●カバーをした状態でも、湯たんぽが直接身体に触れないようにご使用ください。低温やけどの原因となります。 ●キャップは漏れがない程度に締めつけ、漏れがないことを確認してからご使用ください。 ●上に乗ったり、重いものを載せたり、強い衝撃を与えないでください。 ●溶解・引火の危険があるため直接火にかけないでください。 ●電子レンジでは使用できません。 ●用途以外にご使用にならないでください。
⚠注意	<ul style="list-style-type: none"> ●キャップは必要以上に締め過ぎないようにご注意ください。熱湯からの伝導熱でパッキンが軟らかくなり、キャップの締めすぎで本体内の湯が冷えた時にキャップが開けられなくなる原因となります。 ●キャップが硬くて開けられなくなった場合は、破損やケガの原因となりますので手や道具を使って強引に開栓しないでください。 ●熱湯にキャップ部全体を数分間浸して暖めると、開栓が容易になる場合があります。予防策として中の湯が冷めきらない内に一度開栓してください。 ●必ず、キャップを上方向にしてご使用ください。下方向で使用するとかなりの衝撃でキャップが緩む場合があります。
ご使用後に ⚠危険	<ul style="list-style-type: none"> ●火や熱源のそばに置かないでください。 ●使用した湯は飲料水には適しません。絶対に飲まないでください。
⚠注意	<ul style="list-style-type: none"> ●少ない湯量でご使用になって変形した場合、熱湯を入れるとほぼ元の形に戻ります。 ●お手入れの際、たわしやみがき粉を使用すると表面に傷がつくことがあります。 ●保管される場合には、材質の劣化や臭気を防ぐために、本体およびキャップ・パッキンの水分をよく切り、湿気の少ない通気の良い屋内に保管してください。 ●直射日光や風の当たる場所に放置しないでください。 ●長期間ご使用されると、材質の劣化が進み思わぬ事故の原因となります。安全のため、新しいものに買い替えられることをお勧めします。買い替えの目安は約3年です。